

中央大学 大学史資料館

第1回企画展

中大とスポーツ

—過去・現在・未来—



入場無料

2024 **10.14** 祝日/スポーツの日 **mon** - 2025 **4.19** **sat**

第1部/中大オリンピック・パラリンピアン活躍

2024 **10.14** スポーツの日 **mon** - 2024 **12.14** **sat**

第2部/中大スポーツと箱根駅伝

2024 **12.20** **fri** - 2025 **4.19** **sat**

中央大学 大学史資料館企画展示室/開館時間 10:00-17:00/休館日 日曜・祝日

※ご来館の際は、資料館webサイトから最新の開館スケジュールをご確認ください。

協力: 学員体育会、保健体育研究所、スポーツ振興・強化推進室、CHUOスポーツセンター

写真提供: 「中大スポーツ」新聞部、共同通信社(水泳部)、フェンシング部

中央大学 大学史資料館
The Museum of Chuo University History

行動する知性。
 中央大学

中央大学 大学史資料館
第1回企画展

中大とスポーツ

—過去・現在・未来—

日本における体育・スポーツは、明治初期の大学や軍隊において始まりました。1880年代になると、大学内に課外活動組織（クラブ/部）がつけられ、スポーツ活動が活発となります。体育・スポーツを奨励する背景には、身体運動活動がフィジカルの保持・増進・向上から個人と社会関係の形成に至る「人間陶冶」に資するというものがありました。

中大スポーツのはじまりは、学友会が創設された1911年にさかのぼります。学友会創設当時、体育部会は柔道など5部会が公認されていました。2024年現在は、体育連盟に49部会が所属し、活動を行っています。本学は、1924年のオリンピックパリ大会以来、多くのオリンピック・パラリンピアンを輩出してきました。メダリストは35人にのぼり、48個のメダルを獲得しています。

一方、日本の正月の風物詩で大学スポーツの象徴といえる箱根駅伝には、本学は1921年の第2回大会より出場してきました。優勝回数は14回で最多記録を誇ります。

本展の第1部では、本学が輩出したオリンピック・パラリンピアン活躍を紹介します。選手が獲得したメダルや使用された道具などをご覧いただけます。第2部においては、箱根駅伝における陸上競技部の活躍を中心に、中大スポーツの軌跡を紹介します。出陳される襷やユニフォームなどからは、選手間の絆や思いなどを感じ取ることができます。



大日方邦子金メダル
〔大日方邦子氏（1995年度卒）所蔵〕



2021年オリンピック東京大会
聖火リレートーチ
〔伊藤俊介氏（1998年度卒）所蔵〕



飯塚翔太スパイク
〔飯塚翔太氏（2013年度卒）所蔵〕



箱根駅伝たすき
〔中央大学大学史資料館所蔵〕

交通案内／中央大学多摩キャンパス「炎の塔」2階／多摩都市モノレール 中央大学・明星大学駅 徒歩約10分
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1／TEL 042-674-2132／FAX 042-674-2203
URL: <https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/museum/history/>



行動する知性。